

平成二十九年 度第七十一回入学式式辞

あいにくの桜雨となつてしまいましたが、今日の日を待つかのよう
に挨拶坂の桜も満開の中、多くの
ご来賓の皆様、及び、保護者の皆
様のご臨席を賜り、平成29年度
の入学式を盛大に催すことができ
ますこと、謹んで御礼申し上げま
す。

新入生のみなさん、ご入学おめ
でとうございます。

皆さんの入学を本校職員、在校生一同、心よりお待ちしております。この伝した。今日から皆さんは、この伝統ある長府中学校の一員です。

背筋を伸ばした皆さんの立派な態度からきつとすばらしい中学生になってくれると期待しています。

今日は、これから中学校3年間是非実行していただきたい二点についてお話をいたします。

まず一点目は「挨拶のできる生徒になってほしい。」ということ

す。今年、長府中学校では生徒会
執行部の皆さんが、挨拶のしっか
りできる学校にしようと呼びかけ
ています。

家族、先生、先輩、友人、地域
の方々など、誰に会っても挨拶の
できる中学生になってほしいので
す。

よりよい人間関係を築く第一歩
が挨拶です。「あなたの存在を認め
ているよ。あなたのことを尊重し
ているよ。」という意味が挨拶にはあ

るのです。挨拶の飛び交う学校に
していきましよう。

第二は、これも人間関係のこと
になります。「友だちを大切にす
る。」ということですよ。

ほとんどの皆さんがこれから卒
業までの3年間を共に過ごします。

卒業して何年経っても、この長
府中学校が、皆さん全員が素晴ら
しい思い出をつくった大好きな母
校であって欲しいと願っています。

そのためには、「いじめ」や、ふ

ざけ半分の冷やかしやからかい、
ちよっかい、ラインやSNSでの
誹謗中傷もしてはいけません。

お互いを大切にし、認め合い、
励まし支え合うような友だちにな
ってください。

そして笑顔あふれる学校にして
いきましょう。

そうやって、皆で支え合えば、
学習面や部活動・その他全ての面
で、誰もが自らの可能性や実力を
伸ばすことができるはずです。

以上、二つのことを、是非、実践
していきましよう。

さて、保護者の皆様、お子様の
ご入学誠におめでとうございます。

仮入学の際も申し上げましたが
中学生という時期は、思春期まっ
ただ中の、心が大きく揺れ動く、
大変難しい時期です。

だからこそ、手を離しても目を
離さず、一貫した愛情ある見守り
が必要です。

いい時はしっかりその場で褒め

てあげてください。しかし、一旦、間違った行為に走った時は、しっかりお子様と対決することも大切です。

また、この時期を乗り切るためには、より一層のご家庭と学校がしっかりと連携していることも必要です。

学校は集団の場、家庭は個人の場という違いはありますが、同じ子どもを共に育てていく仲間です。もし、ご不安・ご不明な点があり

ましたら、是非、担任等へ遠慮なく、ご連絡をいただければと思います。共に子どもたちのために考えていきましょう。

最後になりましたが、一人一人が、心豊かで温かな人に育っていただくよう期待し、式辞とさせていただきます。

平成二十九年四月十日

下関市立長府中学校校長

濱本 誠治